

## 博報財団 第13回「博報日本研究フェローシップ」成果報告書

## I. 研究成果概要

氏名(フリガナ)	ADAL Raja (アダル ラジャ)
在住国名	アメリカ
所属・役職	ピッツバーグ大学 歴史学部 日本史助教授
招聘回(招聘研究期間)	第13回 (2018年9月1日～2019年8月31日)
受入機関	東京外国語大学
招聘研究テーマ	アジアにおけるタイプライターの世紀: 権威、美学、そして書の機械化
研究目的	文字、アイデンティティ、とテクノロジーの関係を理解する
研究成果概要	
<p>1. どのように研究を進めたか(具体的に)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本の最初の二章を執筆、その二章に基づいた論文を学術ジャーナルに提出した。</li> <li>2. 本の第三章のための資料分析を進めた。この資料は3万枚以上あり、分析にはリサーチアシスタント7人の手を借りた。分析の完了は2020年4月の予定。</li> <li>3. 他の文献を読み、2021年9月までに本を執筆完成する予定。</li> </ol>	
<p>2. 研究によりどのような知見が得られたか(具体的に)</p> <p>世界中で利用されている文字は歴史的に大きく変わったのである。ラテン文字の拡大は西洋の拡大とも繋がっているが、20世紀における中国文字、デヴァナガリー文字、アラビア文字の拡大はナショナリズムとテクノロジーと密接につながっている。</p>	
<p>3. 研究成果(予定を含む)</p> <p>○論文(題目, 掲載誌, 発行者, 掲載月, 内容の概略(200字以内))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“The Print Sublime: A Material History of World Scripts in the Age of the Typewriter,” article currently under review. タイプライター時代におけるプリント文字の物質史(論文提出済、現在査証中)</li> <li>・“A&amp;Q.” Special issue on “infrastructures.” <i>Verge: Studies in Global Asias</i> 6, no. 2 (Fall 2020). “答えと質問”特別号、掲載誌名ヴァージ: グローバルアジア6、(2020秋)</li> <li>・Review essay of <i>Writing Technology in Meiji Japan: A Media History of Modern Japanese Literature and Visual Culture</i>, by Seth Jacobowitz, <i>Tokyo Boogie-Woogie: Japan's Pop Era and Its Discontents</i> by Hiromu Nagahara, and <i>Electrified Voices: How the Telephone, Phonograph, and Radio Shaped Modern Japan, 1868–1945</i> by Kerim Yasar. <i>Harvard Journal of Asiatic Studies</i>. Forthcoming. 書評ジャコボウィッツ・セス作、明治日本にてテクノロジーを書く; ナガハラ・ヒロム作、東京ブギーウギー: 日本のポップ時代とその批判; ヤサル・ケリム作、電気の通る声: 電話、レコード機とラジオが作った現代日本1868–1945、ハーバードアジア研究誌</li> </ul> <p>○口頭発表(題目, イベントの名称, 日・場所, 内容の概略(200字以内))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“The Birth of the Modern Script Regime: From the Typewriter to Unicode.” Hong Kong University, April 1, 2019; 現代プリント文字時代の誕生: タイプライターからユニコード、香港大学、2019年4月1日</li> <li>・東京大学社会科学研究所, April 15, 2019; 東京外国語大学, July 25, 2019.</li> <li>・“Comparing Societies on the Receiving End of Western Expansion: Can we Ever Talk about Mimesis?” Modern Japan in the Comparative Imagination Conference, Durham University, Durham, England, May 9–10, 2019. 西洋世</li> </ul>	

界の拡張に影響を受けた社会の比較研究：比較の空想における現代日本学会、ダーラム大学、ダーラム市、イギリス、2019年5月9-10日

・“The Universal Language: World Scripts and Printed Characters from the Typewriter to Unicode.” Social Science Research Council Inter-Asian Connections VI: Hanoi, Vietnam Academy of Social Sciences, Hanoi, Vietnam, December 4-7, 2018. 世界共通語：世界プリント文字、タイプライターからユニコードまで、社会学研究機構アジア間の繋がり、ベトナム・ハノイ、2018年12月4-7日

○その他の活動

- ・
- ・

4. 今後の活動予定

2021年までに本を執筆完成し、三井文庫の資料を使いもう一つの研究論文を提出する。